

シグマ委員会炉定数専門部会

熱中性子断面積 W.G.
熱中性子炉用高速群定数 W.G. } 合同会議々事録

- 日時 昭和44年9月17日 13:15 ~ 17:15
- 場所 原研東海研第5会議室
- 出席者 永山, 水田, 中原, 土橋, 柴, (杉), 安川, (進藤), (森)
- 配布資料
1. 熱中性子領域の定数
 2. プログラム "DCCP" "PI2" の紹介
 3. MUFT-type Library の改訂作業案
- 回覧資料
1. UK fileの中の一次元データ
 2. ENDF/B file のリスト

議事

1. 熱中性子領域の定数の作成と評価

一次元データについて範囲はJNDC, UK, ENDF/B エネルギーは3eV以下, データの比較は30群にしてからグラフプロット及び Westcottの g. s. factor 一部のデータは格子計算を行なってスペクトルへの影響を調べると土橋委員より作業の説明があった。評価作業についてもっと範囲を拡大して標準偏差を出す実用炉への効き方を詳しく調べたらどうかと安川委員から提案されたが作業を引き受ける人がいないので現段階ではその提案は保留にした。

二次元データは, 核データ情報専門部会から新しく作成された $S(\alpha, \beta)$ を ENDF/A のものと比較してみるようになった。

2. 熱中性子炉用高速群定数の作成と評価

UK file から MUFT 型の Library を作成する作業について杉氏より説明があった。安川委員より GAM型の整備を行なったらとの提案があったが, MUFT型で行なうのを前提にした W.G. なので UK file には

Resonance 領域で level parameter が与えられていないので、3年前の作業の際と同様に問題点があることが指摘された。杉氏の説明では問題の少ないところ、重い核種を優先して作業を開始するとのことであった。

3. その他 なし